

戦前の館山

東京湾の入り口に面する館山は、首都東京を守るための重要な軍事拠点でした。幕末から終戦までの間、さまざまな軍事拠点が館山に置られました。特に、昭和にはいと館山海軍航空隊・館山海軍砲術学校・洲ノ埼海軍航空隊が置かれその軍事的重要度はさらにましていきました。

館山海軍航空隊

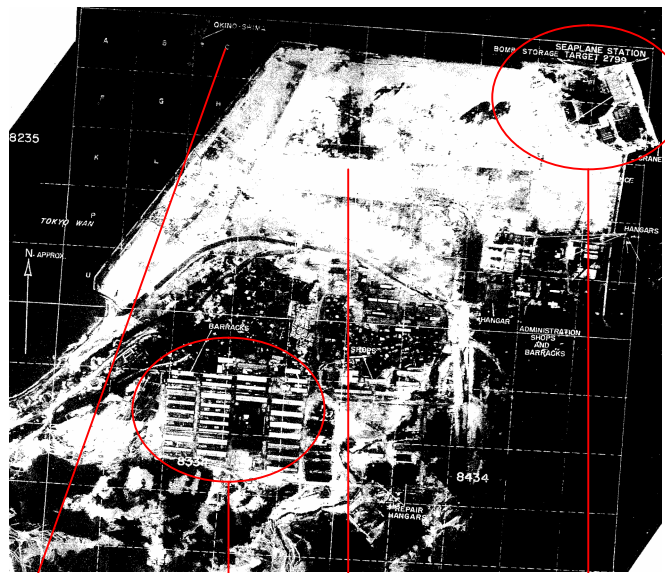
航空戦力を増強しようとした海軍は 1916（大正 5）年日本で最初の航空隊を横須賀に置きました。これを皮切りに佐世保、霞ヶ浦などに航空隊を置き、1930（昭和 5）年全国で 5 番目となる基地航空隊として館山海軍航空隊、通称「館空」を開隊しました。

「館空」は関東大震災で隆起した場所におかれ、その形から「陸の空母」とも言われました。事実、真珠湾を攻撃したパイロットも、ここを空母に見立てて離発着の訓練を重ねました。また、館山は新兵器や新型の飛行機を実験する場所でもありました。太平洋戦争で中心となった雷撃（ここでは飛行機から魚雷を撃つこと）の訓練も館山湾で初めて行われました。そのため東条英機や米内光政など軍部の首脳もたびたび「館空」を訪れています。

戦争末期、アメリカ軍は館山基地を「東京を守るうへでもっとも重要な飛行場」と評価し、空母艦載機での偵察や空襲をたびたび行いました。

写真 は、戦争末期の 1945（昭和 20）年 2 月 16 日にアメリカ軍が撮った館山基地の航空写真です。この日はアメリカ軍の空母艦載機による館山空襲があった日で、そのうちの 1 機が撮った写真と思われます。

写真 / 1945 年 2 月米軍撮影の館山基地（国会図書館蔵）



沖ノ島
洲ノ埼海軍航空隊
滑走路（現在の海上自衛隊館山基地）
館空水上航空機関連施設及び米軍上陸地点

この写真には、当時館山にあった軍事施設が多く写されています。しかし、現在まで残っているものはかなり少なく、次に紹介する掩体壕も数少ない戦争遺跡のひとつです。

えんたいごう 掩体壕とは？

「掩体壕」という言葉を初めて聞く方も多いと思います。掩体壕は味方の飛行機を敵から守るために作られた、いわば「飛行機用の防空壕」です。戦争末期になると全国の航空基地で作られ、現在でも残っているところが数箇所あります。例えば大分県宇佐市では、掩体壕が市の文化財に指定されています。

館山海軍航空隊宮城掩体壕



この掩体壕は主に零式艦上戦闘機（写真 参照）を隠すために建設されていました。

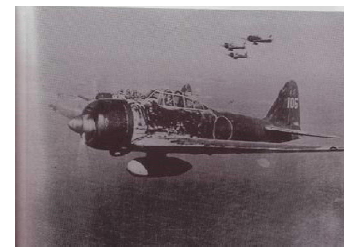
全国に多く残っている平地にカマボコ型で作られたものとは違い、河岸段丘を利用して作られています。掩体壕の上部には草が生え、上空から敵に見つからないように工夫されています。

実際に中に入ってみるとわかりますが、いくら小型戦闘機用の掩体壕といっても広くできていて、零戦の大きさを実感することができます。

この掩体壕は、赤山地下壕（館山市指定文化財）とともに館山の戦争遺跡の象徴となっています。

写真 零式艦上戦闘機

零戦は日本の飛行機の中で最も製造された数が多い飛行機で、すべての型を合わせると 1 万 0 4 2 5 機製造された。



（写真 は「日米軍用機」新人物往来社より）



写真 掩体壕内部

~~~~戦争中の人々の様子~~~~

—館山海軍砲術学校・洲ノ崎海軍航空隊から見る—

館山には館山海軍砲術学校・洲ノ崎海軍航空隊という海軍の教育学校がありました。そこでは多くの若者（一番若くてなんと **15 歳**前後）が教育を受けていました。ここでは当時この2つの学校にいた方の証言をQ & A形式で載せています。

Q 当時の館山の様子はどんな感じでしたか？

A 館山市内は「軍都」という感じで、兵隊が多かったように思います。館山だけでなく房総半島全体が「要塞」という印象を受けました。

Q 学校での生活はどのようなものでしたか？

A 2ヶ月ほど基礎訓練をしました。これはほんとにつらくて、家に帰りたくなるほどでした。また、ほんの些細なこと、例えば水道の水が少し出ていたくらいで「精神注入棒」と書かれた棒で思いっきり尻を殴られたり、腕立てをやらせられたりという「罰^{ばつ}直^{ちく}」というものがあましてね、これがつらかった。

Q 館山の空襲はどのようなものでしたか？

A 戦争末期になると空母の艦載機が朝飯の前に飛んできて機銃掃射していきました。B29による空襲は私が見たのは1回だけでした。それでも怪我をした人は多かったですね。空襲から飛行機を守るための掩体壕も洲ノ空の生徒が作りに出かけたんですよ。作っているうちに終戦になってしまいましたかね。

Q 砲術学校を出られた後はどうされましたか？

A 1944(昭和19)年に250人の部隊でフィリピンに行きました。アメリカ軍が上陸し、凄惨な地上戦がありました。250人のうち生き残ったのはわずかに39人、戦死やマラリア・飢えなどで多くの人が亡くなりました。食料が無くて、湯飲み茶碗の半分の量のとうもろこしの乾燥したものが1日の食料だったですね。ともかく腹が減りましたね、あの時は。

Q 戦争を知らない世代に伝えたいことはありますか？

A 色々なものを見・読み・考え、そこから自分なりの戦争の考えをまとめてくれれば。戦争体験者が考えを押し付けるのではなく、「今の時代に我々はどうすればよいのだろうか」と考えてほしいですね。

館山関連年表

	館山関係 及び 主な出来事
1930(昭和5)	館山海軍航空隊開隊
1931(昭和6)	9月 満州事変勃発
1932(昭和7)	5・15事件
1936(昭和11)	2・26事件
1937(昭和12)	7月 盧溝橋事件・日中戦争勃発
1939(昭和14)	9月 独軍ポーランド侵攻・第二次大戦始まる
1941(昭和16)	6月 館山海軍砲術学校開校 9月 特別陸戦隊によるパラシュート訓練 12月 真珠湾攻撃・太平洋戦争勃発
1942(昭和17)	6月 ミッドウェー海戦
1943(昭和18)	2月 ガダルカナル島撤退 5月 アッツ島守備隊玉砕 6月 洲ノ崎海軍航空隊開隊 9月 イタリア降伏
1944(昭和19)	6月 マリアナ沖海戦・サイパン島陥落 10月 レイテ湾海戦・米軍フィリピン上陸 *この頃本土決戦に向けての陣地構築開始
1945(昭和20)	2月 米艦載機による空襲 *陸軍及び海軍の房総半島への兵力集中 3月 東京大空襲 4月 米軍沖縄上陸 5月 ドイツ降伏 8月 広島・長崎に原爆 ソ連対日参戦 8月15日 終戦 9月2日 ミズーリ号で降伏文書調印 9月3日 米陸軍第8軍館山上陸

平和学習フィールド 館山の戦争遺跡

えんたいごう
= 掩体壕 =



(東京・川村高校の平和学習の様子)

作成: 石川貴裕 (東京大学教育学部附属中等教育学校5年)
研究テーマ「戦争遺跡～遺跡を通して学ぶ平和学習～」
協力: NPO 南房総文化財・戦跡保存活用フォーラム